

ASARI BASE Festival in大月 配信イベント開催！

大月市
ASARI BASE Festival

in 大月



山梨・大月 生涯青春大学プロジェクト

山梨・大月生涯青春大学プロジェクトの初のイベントとなる配信イベント「ASARI BASE Festival in大月」が2月19日（土）に開催されました。旧浅利教員住宅＝「浅利スタジオ」と各地を結びながら、地域の活動の紹介や、大月市のふるさと納税返礼品の紹介を柱としながら、大月市の魅力を域内外に発信するシティプロモーションの一環として実施されました。

11:00 オープニング

浅利メインスタジオ
～中継：浅利ベース

「浅利から始めよう」をテーマに、まず浅利スタジオよりスタート。小林市長より地域住民と市外の皆さんの交流の拠点となるこの「浅利ベース」の紹介から、地域プロデューサー鈴木氏より「山梨・大月生涯青春大学プロジェクト」の活動紹介、そして浅利地区について、地域住民の中村さん、天野さんへのインタビューで紹介しました。またナビゲーターを勤めたローカルディスタンス玉木さんより今回多くのスタッフとして関わっていた「ローカルディスタンス」の紹介も行いました。



11:30 エコの里

中継：大月エコの里

次に「大月エコの里」と中継を結び、ローカルディスタンスの萌里さんをナビゲーターに、エコの里 理事長 篠田さんより、富士山の眺望も見事なエコの里の成り立ち、千本桜プロジェクトの紹介、園内を巡りながらシタケの植菌の様子、SDGsへの取り組みから「無煙炭化器」を利用した炭作りの実演などを紹介いただきました。ちょうど訪れていた貸農園利用者へのインタビューなどもはさみ、多岐にわたる「大月エコの里」の活動をレポートしました。



12:00 「大月市の未来」絵画紹介

中継：浅利ベース展示室

次に中継を浅利ベースの一室に結びました。ここは市内4つの小学校から応募のあった「大月市の未来」を描いた123作品が天井まで飾られた展示ルームです。その中から選ばれた3点の市長賞、11点の入賞作品を披露。素晴らしい絵画に市長の選評コメントをいただきながら紹介しました。



12:30 竹ドーム紹介

中継:浅利ベース外広場

浅利ベースの外にカメラは移動、浅利地区の名産である竹を使用し地域の皆さんが協力して7日間かけて製作した「竹ドーム」をレポートしました。浅利の安達さんより、地域と市の職員さんも協力して一体感を持って作り上げた、まさに夢ドームへの思いをお聞きました。イベント前からの製作記録映像を紹介。当日は、再び皆さんが集まり、一回り小さいミニドーム製作の様子を実況しました。



13:00 エコの里返礼品

中継:エコの里

再びエコの里に中継を移して、エコの里さんの返礼品を紹介。スタッフの山田さんより都内など市外の方が多く利用している「貸農園」の説明を、ナビゲーターの萌里さんも薪割体験した「薪」、そして甘いさつまいもの紹介をはさみ、返礼品の「キラリもち」や地元野菜で作られた芋煮を、皆で試食。都内から移住してきたエコの里のメンバーの方に大月市やエコの里の魅力をお聞きしながらレポートしました。



13:30 返礼品紹介

中継:浅利ベース外広場

返礼品展示室

再び浅利ベースより中継。返礼品になっている納豆に使われている大豆生産者の天野さん、同じくハンバーグの原料になっている玉ねぎの生産者である中村さんに玉木さんがインタビュー。次に浅利ベースの返礼品展示ルームにカメラを移し、地域プロデューサー鈴木さんが大月市企画財政課 鈴木さんより、笹一酒造のお酒をはじめ、味噌や納豆、甘酒、お米に肉などの食品から、富士山ソファ、イスなど幅広い返礼品の紹介を行いました。



中継:浅利ベース外広場

竹ドーム前の玉木さんに再びバトンタッチ。企画財政課の杉本さんより、その他の返礼品の麺や味噌の他、浅利の皆さんが持ってきた野菜を使い、エコの里の薪で作ったほうとうや、桂川の鮎など大月・浅利の美味しいものを紹介。小林市長が紹介するロケットストーブで炊いた米を皆さんで試食しました。



14:00 スイーツ返礼品

中継:サブスタジオ
明星高校

栄月製菓の吉田さんスタジオにお招きして、ふるさと納税返礼品の「厚焼き木の実煎餅」や新商品「鬼煎」を紹介いただきました。同じく返礼品である、お菓子工房「エイグツ」さんのロールケーキやチーズケーキなどを、域外からプロジェクトに参加いただいた府中市の明星高校の生徒さんが試食、その感想や、今後の商品の希望などを伺いました。



14:30 明星高校

中継:明星高校

明星高校の皆さんが引き続き登場、飯島先生の指導のもと行われた、大月市のフィールドワークの結果を発表いただきました。生徒さんたちが大月の街を巡り、地元の方や商店と交流して感じた温かさや懐かしさなどの感想や、店舗や名産品などの魅力をまとめたプレゼンテーションは、市外の若い世代の声として、大月市の魅力に新たなスポットを当ててくれました。小林市長からも「生徒さんの声が大月市の今後のまちづくりやPRの参考になった」と感謝の言葉をいただきました。



15:00 エンディング

Asari Studio

「浅利から始めよう」をキャッチフレーズに、お送りした本イベント。竹ドーム完成報告と竹炭、チップ、パウダーなど「竹製品」の活用について安達さんよりお話をいただきました。最後に小林市長より総括として、地元の皆様の協力に感謝のお言葉と、人流・物流のゲートウェイとしての大月市魅力の一端、特に人が集まり、情報発信の拠点としてのポテンシャルを感じたイベントであったこと、何より笑顔で交流できる場である大月に外の方も訪れ、大月ファンになっていたいただき、移住いただけるとありがたいというお言葉をいただきエンディングとなりました。



※地元の方がたくさん関わったイベントの様子は、今後ダイジェスト版を配信、また「竹ドーム」や「ふるさと納税返礼品」など、大月市の魅力を映像化し今後も地域内外に向けて配信していく予定です。浅利ベースもこうした情報発信の基スタジオリとして活用予定です。お楽しみに！

